

令和6年度 杏林大学研究業績集発行に寄せて

大学の使命は教育、研究そして社会貢献であるといわれます。大学での教育は、教員の専門領域における研究活動の裏付けのもとに行われるのが特徴です。その研究活動の成果は一方で研究論文や著作、学会発表などとして世に問われ、各専門領域の発展に寄与するとともに、ひいては広く社会に貢献することになります。このように、研究は大学における諸活動の中でも特に重要な役割を担っているということを、私たち大学に籍を置くものは改めて認識し、より一層努力することが求められております。

この度、令和6年度に本学で行われた研究の成果を研究業績集として取りまとめることとなりました。この研究業績集は本学における研究活動の記録として貴重な資料となることはいまでもありませんが、それとともに、本学における研究活動の更なる発展に向けてこの研究業績集が有効に活用されることを望んでやみません。

令和8年3月
学長 渡邊 卓

令和6年度 杏林大学研究業績集発行にあたり

杏林大学の令和6年度の研究活動の集大成としての業績集をお届けします。業績の背後にある研究活動に敬意を表しますとともに、次年度のさらなる発展を祈念しています。研究推進センターは、研究活動の活性化のため、研究環境の整備、研究費申請、論文作成や学会発表のサポートに尽力いたしますので、積極的にご利用ください。

この業績集を通して、研究者の皆様には自らの研究活動を振り返っていただき、また他の研究者の業績を知っていただくことで、新たなコラボレーションが生まれることを期待しています。

これを手にとられる学外の研究者や産業界の皆様におかれましては、杏林大学の研究活動に関心を持っていただいたことに御礼申し上げますとともに、共同研究や産学連携をご検討されるようであれば、当該研究者あるいは研究推進センターにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

令和8年3月

研究推進センター長 櫻井裕之

目 次

1	講 演 (学会・研究会，国際学会，地域の講演会，ポスターセッション，一般向け公開講座等)	医学部 1	⇒	⇒
	論 文 (原著，総説，依頼総説，症例報告等，専門学術誌に掲載された学術著作等)	保健学部 142	⇒	
	著 書 (分担執筆，監修，翻訳，電子メディアを含む)	総合政策学部 188	⇒	
	報告書 (官公庁，公的機関等)	外国語学部 192	⇒	
	その他 (新聞掲載，メディア出演，受賞，学会主催，巻頭言，対談，オピニオン，特許等)	データサイエンス 教育研究センター 198	⇒	
2	共同研究	199	⇒	⇒
3	研究費採択一覧	279	⇒	⇒
4	学会等の研究活動に対する表彰者一覧	303	⇒	⇒
5	学位論文要旨および審査要旨 医学研究科 保健学研究科 国際協力研究科	307	⇒	⇒

医学部

保健学部

総合政策学部

外国語学部

データサイエンス
教育研究センター

共同研究

採 研
 択 究
 一 覧
 費

学 会 等 の 研 究
 活 動 に 対 す る
 表 彰 者 一 覧

学 位 論 文 要 旨
 お よ び
 審 査 要 旨

講演・論文・著書・特許等知的財産関係・報告書・その他